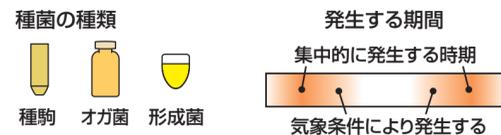


収量・品質・美味しさを  
追求した優良品種

# 菌興号種菌

菌興号種菌の総合カタログです。  
栽培・経営にお役立て下さい。



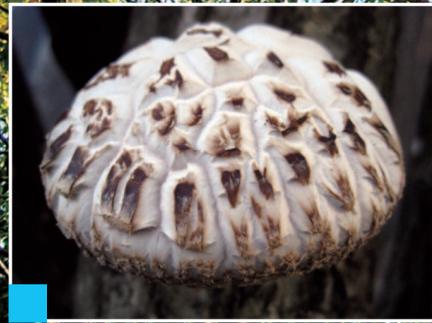
発生する時期は標準的なもので気象条件、栽培環境によって変わります。

乾用品種	栽培形態		きのこの形状	発生型	発生温度		発生時期							品種特性
	種菌種類				発生温度	成長温度	10	11	12	1	2	3	4	
115	乾 (生)	露地栽培		低中温 (冬春型)	8℃以下	8~16℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>超厚肉ジャンボシイタケが採れる。品評会では厚肉部門の上位を独占。</li> <li>種駒の発生最盛期は2年ほだ木。形成菌は、植菌年の1年ほだ木から発生しやすい(植孔発生)。</li> <li>林内での自然栽培のほかハウス栽培も可能。冬季に袋かけ、ビニール被覆により大形のきのこが収穫できる。</li> </ul>
		ハウス栽培					晩秋、ほだ木の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生量が多くなる。冬季は、低温・乾燥のため成長が抑制され、冬～春、ほだ木の最高気温が10~13℃の日が続くと本格的に発生する。							
169	乾	露地栽培		低中温 (冬春型)	8℃以下	8~16℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は中肉で大形。円形丸山型。傘周縁の巻き込みが強く、反転しにくい。ヒダは密で美しく市場評価が高い。</li> <li>発生の最盛期は3年ほだ木。ほだ木寿命が長く、古ほだになっても、大形のきのこが採れる。</li> </ul>
170		ハウス栽培			晩秋、ほだ木の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下に安定すると発生量が増加する。冬～春は、ほだ木の最高気温が10~13℃の日が続くと集中発生する。									
登録品種 193	乾	露地栽培		低中温 (冬春型)	8℃以下	8~16℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は大きく、円形丸山型。傘周縁の巻き込みが強く、反転しにくい。ヒダは密で美しく市場評価が高い。</li> <li>発生の最盛期は3年ほだ木。ほだ木寿命が長く、古ほだになっても、きのこが大きい。</li> </ul>
登録品種 240		ハウス栽培			晩秋、ほだ木の最低気温が10℃以下に安定すると発生量が増える。冬～春は、ほだ木の最高気温が10~13℃の日が続くと集中的に発生しやすい。									
登録品種 327	乾 (生)	露地栽培		中低温 (春秋型)	10℃以下	8~18℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は大きく、円形丸山型。柄は短く、石突に向かうほど細く、採取しやすい。傘周縁の巻き込みが強く反転しにくい。</li> <li>ほだ化が良く、発生の最盛期は2年ほだ木。</li> <li>コナラ2年ほだ木の秋子率は20~50%で年内に2回の発生ピークがある。</li> </ul>
登録品種 118		ハウス栽培			秋、ほだ木の最低気温が14℃以下になるときのこの発生が始まり、翌4月にかけて分散的に発生する。春の発生は、ほだ木の最高気温が10℃以上になる頃から始まる。									
登録品種 118	生 (乾)	露地栽培		低中温 (冬春型)	8℃以下	8~16℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は円形丸山型。柄は太く、傘は厚肉で硬い。</li> <li>種駒の発生最盛期は2年ほだ木。形成菌の場合は、植菌年の1年ほだ木から発生しやすい(植孔発生)。</li> <li>年内の発生量が多く浸水によるハウスの冬出し栽培に適す。露地では袋かけ、ビニール被覆などを行なうと、高品質のきのこが採れる。</li> </ul>
登録品種 141		ハウス栽培			晩秋、ほだ木の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生量が多くなる。冬～春、ほだ木の最高気温が10℃以上の日が続くと発生量が増える。									
登録品種 324	生 (乾)	露地栽培		中温 (春秋型)	14℃以下	8~20℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は大きく、円形平山型。ヒダは密で美しい。肉質が極めて硬く、食感とくに歯切れがよい。</li> <li>走り子(植菌年の秋～春の発生)が多い。発生の最盛期は2年ほだ木で、ほだ木寿命はやや短い。</li> <li>分散発生型であり、生出荷に適す。</li> </ul>
登録品種 101		ハウス栽培			秋、ほだ木の最低気温が14℃以下になるときのこの発生が始まり、翌4月にかけて分散的に発生する。春の発生は、ほだ木の最高気温が10℃以上になる頃から始まる。									
101	乾 (生)	露地・ハウス栽培		低中温 (冬春型)	8℃以下	8~16℃								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は円形平山型で色調は明るい。柄の長さは短い。</li> <li>厚肉で肉質が硬い。雨子状になりにくく、明るい香信系のシイタケとなる。</li> </ul>
241		露地・ハウス栽培			秋は最低気温が8℃以下の日が続くと発生が始まり、春は最高気温が10~13℃になると集中発生する。									
登録品種 697	生	浸水 ハウス栽培		高中温 (周年型)	13~18℃以下	75~90%								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は円形、丸山型で色調は明るい褐色。ヒダは美しく、市場性が高い。肉質が硬いので食感がよく、美味しい。</li> <li>形成菌の多孔植菌によりほだ化を進めれば植菌年の使用が可能。</li> <li>真夏でも、発生量、品質が良く、厚肉のきのこが採れる夏に強い品種。</li> <li>冬季の休養や事前管理のためには15℃以上の温度を確保する。</li> </ul>
登録品種 702					13~28℃									
登録品種 706					13~18℃以下									
登録品種 702	生	浸水 ハウス栽培		高中温 (周年型)	13~18℃以下	70~90%								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は円形、丸山型、色は明茶褐色。肉は厚く、硬さは普通。</li> <li>形成菌の多孔植菌により、ほだ化を進めれば植菌年に2回程度の使用が可能。冬季に保温・保湿すれば、周年栽培が可能。</li> <li>休養中散水によって芽数を増やしやすいう豊産型の品種。</li> <li>湿度は697号よりも若干低めに管理する。梅雨時期など多湿時には、換気によってハウス内湿度を下げる。</li> </ul>
登録品種 706					13~28℃									
登録品種 706					70~90%									
登録品種 706	生	浸水 ハウス栽培		高中温 (周年型)	13~18℃以下	70~90%								<ul style="list-style-type: none"> <li>傘は円形、丸山型、色は茶褐色。肉は厚く、膜切れが遅い。</li> <li>形成菌を多孔植菌し、ほだ化を進めれば植菌年の9月中旬以降の使用が可能。冬季に保温・保湿すれば、周年栽培が可能。</li> </ul>
登録品種 706					13~30℃									

きのこ種菌の拡大培養は種苗法により固く禁じられております。

# 菌興号種菌

総合カタログ



持続可能な農林業と里山再生への思いを種菌にこめて  
安全・安心・美味しい日本産原木しいたけ栽培を応援します

## 財団法人 日本きのこセンター

本部/〒680-0845 鳥取市富安1丁目84  
TEL (0857) 22-6161 (代表)  
FAX (0857) 29-1292  
<http://www.kinokonet.com/>

### 技術員駐在所

- 九州日向事務所 〒883-0033 宮崎県日向市塩見1506-1 ☎(0982)52-5551 FAX(0982)52-1869
- 九州大分事務所 〒879-5521 大分県由布市狭間町鬼瀬423-1 ☎(097)583-5608 FAX(097)583-5601
- 四国事務所 〒795-0071 愛媛県大洲市新谷家戸乙1523 ☎(0893)25-6199 FAX(0893)25-6197
- 鳥取事務所 〒689-1125 鳥取県鳥取市古郡家211 ☎(0857)51-8132 FAX(0857)51-8133
- 鳥取事務所 三次支所 〒728-0006 広島県三次市皇敷町916-2 ☎(0824)63-1226 FAX(0824)63-2012
- 中部駐在所 〒481-0033 愛知県北名古屋市西之保犬井138-2-103 ☎(0568)26-3520 FAX(0568)26-3521
- 北陸駐在所 〒920-0024 石川県金沢市西念4丁目7-1 ☎(076)223-2956 FAX(076)222-5156
- 静岡駐在所 〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保118 ☎(0558)72-6675 FAX(0558)72-0894
- 関東東北事務所 〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町2925-14 ☎(028)673-1238 FAX(028)673-1090
- 久喜連絡所 〒346-0025 埼玉県久喜市樋ノ口大野50-1 (JA全農椎茸事業所内) ☎(0480)23-1696 FAX(0480)23-1696
- 関東東北事務所 盛岡支所 〒020-0861 岩手県盛岡市仙北2-2-24 ☎(019)636-4059 FAX(019)635-1359

## 財団法人 日本きのこセンター 推奨

### 原木栽培を応援します



品 種	発生温度	種 類	発 生 時 期												原 木 の 種 類		
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
極 早 生	8℃~20℃	駒															ナラ類・サクラ類・カエデ類・シデ類・ シイ類・クルミ類・ヤナギ類・トチノキ・ ブナ・クヌギ・クリ
早 生 (ジャンボなめこ)	8℃~15℃	オガ・駒															○は1年目から発生可能
晩 生	5℃~15℃	オガ・駒															
ひ ら た け	10℃~20℃	オガ・駒															エノキ・クルミ類・ヤナギ類・ポプラ・ ハンノキ・ドロノキ・ウコギ類
冬 し め じ (ひらたけ生)	5℃~18℃	オガ															
き く ら げ	10℃~25℃	駒															アカメガシワ・エノキ・カキ・クワ
く り た け	8℃~18℃	駒															ナラ類・クリ・クヌギ・サクラ類

品 種	しいたけ												なめこ	ひらたけ	きくらげ	くりたけ	
	1	1	1	1	1	1	0	2	2	3	3	6					7
種 駒 (1,000個入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
種 駒 (500個入)							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オガ菌				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
形成菌				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

きのこ種菌の拡大培養は種菌法により固く禁じられております

### 原木栽培用種菌・植菌資材

種菌とキリ先の適合一覧

種 菌 種 類	種 駒	形成菌	オガ菌
種菌形状サイズ	種菌直径 8.0mm	種菌直径 12.7mm	
包 装 形 態	1函 (1,000個入) 1袋 (500個入)	1ケース (460ヶ/1シート×22シート)	1本 (1,300cc入)
対 応 キ リ	一般材	8.0mm	12.7mm
	ハイス材	8.0mm	12.7mm
	一般材 ストッパー付き	8.0mm 穴にマークが付きます	12.7mm
	手打ち式 植菌器具	専用刃先 8.0mm 駒用打ち込み器一式	

### 菌興式椎茸乾燥機

## 全自動 KK-45型

- エビラ収容量：45枚(60×120㎜)  
外 寸：幅2790×高さ2103×奥行1302mm  
送 風 機：CL-75S乾燥機用両軸シロッコファン  
風 量・静 圧：110m<sup>3</sup>/min・215Pa  
パ ー ナ ー：ST-E-15 全自動パーナー  
使 用 燃 料：白灯油  
制 御 盤：菌興式全自動制御盤



全自動KK-45型

乾燥機用両軸  
シロッコファン搭載  
単相200V 公称出力1000W

長年の試験結果からシロッコファンの搭載は必要不可欠という結論に達しました。  
KK-45型には乾燥機用両軸シロッコファンが搭載されています。



菌興式的全自動制御盤は  
生産者の乾燥テクニックをプログラム



きのこの採取時の状況・品種に応じ生産者の持つ乾燥テクニックをセットできます。

高性能  
安全システム

制御用温度計の他に二つの安全装置温度計を装備し、多重監視システムで安全を確保しています。